

「認知症の人にもやさしいまち 中区」 ロゴマークが決定しました！

たくさんのご投票
ありがとうございました！

認知症は、誰もがなりうる病気であり、多くの人にとって身近なことになっています。このため、子どものころから認知症を正しく理解することが、認知症の人にもやさしいまちを広めるうえで重要です。

今回、中区では特に子どもたちに認知症について知ってもらうきっかけ作りとして、区内在住・在学の小～高校生等を対象にロゴマークを募集しました。また、応募のあった作品から区民の皆さんに投票いただき、最も多くの投票を得た作品をロゴマークに決定しました。このロゴマークの活用を通じ、認知症について、より身近なこととして関心を持っていただくことで、「認知症の人にもやさしいまち 中区」を広めていきます。

1 決定したロゴマークについて

中区在住・在学・在勤の皆さんの投票により、元街小学校4年生 ふじい はると 藤井 陽 友さんが描いたデザインを元にした作品に決定しました。



藤井さんのコメント

○デザインの説明

すべてのひとにやさしく明るい楽しい町
中区

○認知症について学んだこと

自分も認知症になるかもしれないし、
どんな人でも同じに接することが大事。

認知症は、周囲の方の対応によって病状が変わることがあります。このロゴマークを通じて、一人でも多くの人や学校、企業などの団体が認知症について正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守る認知症サポーターになっていただきたいです。

2 選考経緯について

- ・区内在住・在学の小～高校生等を対象にロゴマークを募集（7/10～9/15）
- ・応募いただいた12作品のなかから選考会を開催し、4候補作品を選定
- ・11/11（土）～12/8（金）に中区在住・在学・在勤のあらゆる世代の方に投票いただき（投票総数1,668票）4案の中で最も多い票数を集めたデザインを「認知症の人にもやさしいまち 中区」ロゴマークとして決定しました。



○中区民まつり（ハローよこはま）
での区民投票の様子→

裏面あり

3 表彰式概要

- (1) 日 時 令和6年3月12日(火) 16時20分から17時00分まで
- (2) 会 場 中区役所 6階区長室
- (3) 内 容 区長より賞状贈呈、懇談

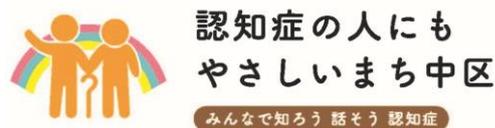
※取材について

取材を希望される場合は、3月12日(火)12時までに中区高齢・障害支援課までメール〈na-koreisyogai@city.yokohama.jp〉で社名・担当者名・当日取材人数・連絡先等をご連絡ください。当日は、16時15分までに中区役所6階総務課前へお越しください。

4 今後の展開について

幅広い世代で認知症への関心を高めるため、認知症サポーター企業等認証ステッカーなどへの使用や、認知症サポーター養成講座などの場で、ロゴマークを使用した啓発物品等を配布します。

<活用イメージ>



ステッカー→
名刺↓



《参考1：認知症サポーターについて》

キャラバン・メイトと呼ばれるボランティアが「認知症サポーター養成講座」を実施しています。講座を受講することで認知症について正しく理解し、偏見を持たず、認知症の人や家族を温かい目で見守る「応援者」＝認知症サポーターとなります。認知症サポーターは、近所で気になることがあればさりげなく見守る、まちなかで困っている人がいたら手助けする等、自分のできる範囲でサポーターとして活動していただきます。講座は企業や子ども向けなど依頼者に応じて様々な形で行っていますので、関心のある方は下記までお問い合わせください。



○子ども向けサポーター養成講座の様子(令和5年8月)

【お問合せ先】

中区福祉保健センター高齢・障害支援課
電話：045-224-8167

《参考2：中区認知症サポーター企業等認証制度について》

中区では「認知症サポーター養成講座」を受講した企業・団体等を認証しています。医療関係機関、金融機関、飲食店など様々な企業に登録していただいております(現在80件)。関心のある企業の方はぜひ下記ホームページをご覧ください。

https://www.city.yokohama.lg.jp/naka/kurashi/fukushi_kaigo/koreisha_kaigo/ninchi/ninnti_shousaporter.html

お問合せ先

中区高齢・障害支援課課長 岩崎 雄介 Tel 045-224-8160